明治三十八年三月十九日 朝鮮日報 (日曜) (一)

朝鮮日報

紀元二千五百六十五年 光武九年 陰曆甲辰二月十五日

發行所 朝鮮日報社

各地通信

門司特報（十五日發 特派員發）

大會戰前報

楷子嶺占領戰報

晉子嶺の戰鬪に參加し身に傷を蒙り昨日送門司に着せる某將校の談に曰く、客年十月沙河の對陣以來我軍の準備未だ完了せざるものありしを以て甚に攻動を執る能はざるもの五閱月、漸く二月十九日に到り始めて前進の大的決命令を授受せしは戰線兵殆んど五十有餘里に亘れる我が右翼の[illegible]

[illegible]

迫害を試みた

[illegible]

の勢力互角

[illegible]

一團の老兵

[illegible]

死なば死ね

[illegible]

立し時として

[illegible]

會戰の序幕

[illegible]

呑まれたる敵の氣を

[illegible]

雜報

錦江の航運（五）

[illegible]

內國產貨物

品別	數量	金額
食鹽	一五、〇〇〇石	一六五、〇〇〇
明太魚	五、〇〇〇駄	九七、五〇〇
乾鰮魚	……	二五〇、〇〇〇
生魚	……	一五一、〇〇〇
雜品	……	一〇〇、〇〇〇
小計		一、三六五、五〇〇
合計		二、四五九、五〇〇
輸出入總計		二、四五九、五〇〇

十分の九迄は韓船によりて全羅沿岸より輸入し水路又は陸路によりて前記の方面に運搬す

備考 群山よりも亦轉送さるゝもの多し

前記の內最近一ヶ年間本邦人の手により江景より群山へ輸出入されし貿易金額左の如し

輸入金巾其他雜貨	三六七、〇〇〇圓
全海產物	八六、〇〇〇
輸出米牛皮の類	二五〇、〇〇〇
總計	七〇三、〇〇〇

群山

群山は錦江の下流全羅道の西北端に位し忠淸道舒川と相對して錦江み碇み港內水深しと雖も岩石点在し暗礁の箇所廣からざれば大阪商船會社に於ては船舶航行の安全を謀り三十七年十一月暗礁浮標を設置せり而して河に赤淺洲多く潮流急激なれば船舶の航行困難にして千噸以上のものは出入甚だ自由ならずと云ふ然れども此地は三南の富源を扣へ錦江の水利に浴し輸出入貨物集散の吞吐地なり其地形恰も仁川の漢江、鎭南浦の大同江に於けるが如き關係ありて江景は實に龍山、平壤に稍髣髴たるものあり群山は明治三十二年五月の開港にして其貿易遞々たりしが去る三十五年冬期より長足の進步をなし其貿易著く發展の域に向ひつゝあり其輸出入貿易額を左に示さん

年別	輸出金額	輸入金額
卅四年	八三四、五九九圓	七二六、〇〇〇圓
卅五年	一、〇一〇、四四三	九七七、九〇一
卅六年	一、七六九、〇三〇	一、五六二、〇四二

前記の內主要なる貨物の數量及金額左の如し

輸出之部

三十四年度

品別	數量	金額
米	一三七、一九四	三八九、〇四[illegible]圓
荏子	六六、四〇〇斤	七、九[illegible]
大豆	八、一六〇石	一八、三九[illegible]
牛皮	二八、八四〇斤	三一、九一[illegible]
麻布	一五八、八二〇斤	二三四、一〇一
紙	六八、七二斤	一六、六[illegible]圓

三十五年度

品別	數量	金額
米	二四一、一七七斤	四一七、四五〇圓
荏子	一五三、九〇〇斤	八二、[illegible]
大豆	五三、八三〇石	四五、六四[illegible]
牛皮	二〇二、六六五斤	四八二、九九[illegible]
麻布	九八、六八四反	二八八、二七[illegible]
紙	九七、三〇〇斤	二六三、一三[illegible]

三十六年度

品別	數量	金額
米	二四六、三三〇石	九一六、五六[illegible]圓
荏子	三四、二〇七斤	一一、二三八

戰雲觀

滿州に下る

●優勅

奉天は客秋以來敵軍此處に堅固なる防禦工事を設け優勢の兵を備へ必勝を期して衛を爭はんとする所あり我滿州軍は機先を制し毅然竝進近く渾水附近に力戰健鬪十四晝夜を連ね遂に頑強死守の敵を破り敵の將卒を虜にし多大の損害を與へ之を鐵嶺方面に驅逐し曠古の大捷を博し帝國の威武を中外に發揚せり

朕深く汝將卒の能く堅忍持久絕大の勳功を奏したるを嘉す尙益奮勵せよ

大山總督の奉答

奉天附近に頑強の抵抗を試みし敵を擊破し陷らしめ僅かに敵に一大打擊を加へ得た會戰に於る我軍の目的を達したは一に陛下の御稜威に依る今茲に優渥なる勅語を拜し臣等感激の至りに堪へず兩後益々奮勵し誓つて聖旨に副はんことを期す

右謹んで奉答す

滿州軍總司令官侯爵 大山巖

●皇后陛下の令旨

我滿洲軍は機を見て大擧勇を奮ひ激戰晝夜を分たず寒苦を厭はず衆を以て鋭を破り旬日の後頑強の敵を殲擴し鹵獲算なく俘虜亦夥し是れ偏に皇后陛下の慈聞に達し我將校下士卒の堅忍壯烈能く大勳を奏したるを深く御感賞あらせらる

右奉答

奉天附近の大會戰に頑強なる敵を擊破し之を潰亂に陷らしめ敵軍に一大打擊を加へ得たるは一に天皇陛下の御稜威に依ると雖も又優渥なる令旨を賜ふ臣等感激の至りに堪へず爾後益奮勵し最後の目的を達成せんことを期す

右謹んで奉答す

滿州軍總司令官侯爵 大山巖

皇太子殿下より滿州軍への令旨

今回滿州軍が偉大なる奏功を嘆賞す

右伝答

天皇陛下の御稜威に依り奉天附近の總攻擊に大捷を致し敵軍を擊破し彼に一大打擊を加へたるは當に對し優渥なる令旨を賜ふ臣等感激の至りに堪へず爾後益奮勵し最後の目的を達成せんことを期す

右謹んで奉答す

滿州軍總司令官侯爵 大山巖

●捕虜十万に達す

日露開戰以來我軍の爲め捕虜となり本邦に護送せられ各地收容所に收容中なるスヰルノフ露軍中將以下の現在總數（二月二十八日其筋の調査）は三萬八千三百五十八人なるが本月に至り本邦に護送せられたるもの及び旅順に殘留せる病捕虜を合算するときは實に五万以上に達する由なるが今又奉天附大會戰に於て四万以上の捕虜を得近々本邦に護送せらるゝ等にて全部到着の上は約十万以上に上るべしと也

●クロパトキンの辭職

タイムス通信員は報して曰く、クロパトキン將軍は休養の必要あるために總指揮官の職を罷めて他人に委せられんことを露帝に願へり

●露軍の損害

露國の官報に由れば露軍は大砲五百門及び二十萬以上の損失を公認せり

俳句

枕十句（春季結） 下關 春餘

如月の風まだ寒し枕もと

世代の換へて行きたり枕紙

枕負ふた儀式たる子や春遲き

春雨や枕引き拐は指角力

理髮屋の椅子の枕や日の永き

春風や尻を乘せたる護謨枕

春雨や手枕の母讚を言ふ

眠る蝶汝は何を枕にて

孕鹿牡鹿の首を枕にて

若菜摘鼻持つ子の寐かまり 白駒

徒然を寐てしまいけり春の雨

障子をす影のそはろや春の宵 天奴

纖にやむ我に花あり名はお梅

梅折て隣り讃居しかりけり

琴の音も亂れ勝ちなり春の雨 狂公

講談 武勇の譽

（十八回） 本社 井竹林講演 員述記

[illegible]

朝鮮日報

各地通信

●門司特電（十六日午前四時發）

体敵兵の逆襲（柏原聯隊の活動）

今回負傷せられたる負傷者ゆ柏原聯隊の活動に就て語て曰、我黒木軍方面は山岳重疊險峻なるを以て歩行すら困難はよし忍び得るとするも運搬業輜重貨物運搬の困難は實に名状すべからざるものあるを以て交戰の設備充分なる能はざる前面なる敵の防備は天險を利用して防御工事を嚴重に施し面も頑強に抵抗せるを以て地勢上左方友軍の前進比較的容易なりしに反し右方友軍の前進頗る困難にして豫定の如く一線に並進せしむる能はず從來の陣地たる大柳谷の兵站内に止まる事頗る困難に[illegible]しが果然四日午後に及んで始めて師團の命令に接せり曰く[illegible]隊は左右兩翼軍と連絡を保ちつゝ前方石灰窰西方高地の敵に[illegible]すべし而して該高地占領後は前面の敵情如何により斷然第二線の攻撃を續行すべし

此命令を受けたる柏原聯隊は五日午前三時東天未だ曉を告げず暗黒に乗じて四邊暗黒道を[illegible]河からざるの時行動を開始し大柳谷の前方約二千米突なる石灰窰西方高地を攻撃し日暮と共に前進[illegible]に於て展開を行ひ渾河上流たる渾牛河の氷上を渡渉せり

其行進隊形は志田大隊を右に稲村大隊を左に本部は其中央にありて互に連繫を保持しつゝ之れ猛行せしが此時志田大隊の第十中隊は實に先登たり而して志田本隊の右翼前面に於て渾牛河の渡渉を終り後續隊なる第十一中隊が今や氷上を渡らんとする時[illegible]前面の敵は[illegible]三發の警戒銃聲と共に敵は一時に銃口を[illegible]たるが同隊は河を[illegible]前進して約一千米突を[illegible]攻は益々加はる[illegible]の地物なき所にて不利なる地点なりしも幸にも四邊暗黒殆んど物色すべからざ[illegible]彈丸の多くは我頭上幾米突を[illegible]飛び去るのみ[illegible]

しとり此軍の然々たる逆襲しけん面强なる抵抗を試みずして潰走せしかば此處に目的地点を奪取したるを以て更に進んで鉢卷山の前面に隙して徐ろに進撃の準備をなしたりき

六日同聯隊は前進行動を開始せす依然鉢卷山の前方に於て軍旗未だ北を指さゝる午後四時か前面の敵は由來の敗戰を如何に悔しく感じたりけん太膽にも我柏原隊に逆襲を試みたり此日天晴かにして黙髪を動かすの微風だもなき快晴なるに遙かに起る[illegible]の烟ヌワ逆襲ご見る間もなく我第一線に襲來せし敵は其數優に一個中隊の小部隊ながらも

体の一團 殺氣滿々たる

[illegible]は逆襲耳ヶ挫への暇もなく我杉原隊の第一線[illegible]せし裸体逆襲隊は雨と降る彈丸の下を潜りつゝ[illegible]勇敢奮闘實に敵ながらも[illegible]なる振舞なりき[illegible]

京城通信（十四日午後七時）

▲減等放釋　昨日千秋慶節に際し囚人に[illegible]減等も放釋すべきもの[illegible]は放釋も以つて國家の廣恩の典を示すべし[illegible]

▲警[illegible]　仁川監[illegible]より外部に報告し[illegible]の一[illegible]

▲内部納入の撥事　金額の租税は元と白銅貨にて納入しあれしも葉錢にて納入せんとて進むるを以て[illegible]に調[illegible]したる[illegible]入れ[illegible]ば同地に[illegible]部より[illegible]

乞ふ旨一進會より請[illegible]す

▲任命ヶ受けず　内部大臣署理[illegible]季鳳來任命あり[illegible]趙秉[illegible]署理を兼任す[illegible]

▲城津領事分館　客年一時引揚げたる城津分館も此程該地方當局より復し普通[illegible]等[illegible]

該館を開くおさゝなり當公使館にある該分館主川上立一郎氏副領事に昇進すると同時に該館に赴任を命せられ翌三日中當地出發同地に向ふ筈

▲三國公使謁見期　陛下不例の爲めに延期されつゝある三國公使の謁見は一兩日中に遂げらる可く内定し居れりと

雜報

●戰勝と日露公債

日露開戰以來、常にわが軍の連戰連捷に歸し居るに拘らず倫敦市場に於ける彼我の公債相場は全く反對の現象を呈し同じ四分利付の公債にて在ながら却て其連敗者たる露國公債がわが公債よりも上値を示し甚しきに至りては二十磅餘の懸隔あるを報ぜしとあるが是吾人が讀者と共に頗る嫌悪たるところなりしも右は決して歐洲の資本家が單に彼我の强弱若くば財政に對する自然の所信に由て恐りしものに非ずして即ち露國の財務當局者が巧みに市場の人氣を操縱して自ら持たる人爲的相場に外ならざりしが今や世界列國の注目したる奉天附近の大會戰に於て又わが大捷に歸し露軍は潰亂して殆ど[illegible]に復た起つ能はざるの大敗を被りし[illegible]公債相場は[illegible]に[illegible]府公債は左の如く[illegible]乃ち英貨相場を一磅[illegible]

一日本四分利付公債　八十七磅八分の七（保合）

一露國四分利公債　八十七磅四分の三（八分の七下り）

[illegible]わが公債は[illegible]に[illegible]して百工[illegible]

●京釜鐵道前月中の收支　京釜鐵道二月中の營業收入[illegible]

●京釜鐵道開業式準備　京釜鐵道が[illegible]五月我朝野の貴紳及び[illegible]開業式を擧行するに就き[illegible]着々其準備中なるが[illegible]

●常設員會　當居留地役所常設委員會は本月二十日に開會する筈なりと

●京釜間の道路　京釜間の道路は至つて狹隘の[illegible]多きにより過日岩谷收[illegible]果今日の[illegible]にて[illegible]ならざ

●三山居留民數　當釜山港本邦人居留民數本年二月末日の調査に依れば左の如し

一總戸數　二千五百五十三戸

一總人口　一萬千七百四人

內譯　男　五千八百四十六人　女　五千二百二十八人

一月調査分と對照すれば左の如し

一總戸數　二千五百戸

一總人口　一万九千十九人

增加人口は左の如し

一戸數　五十三戸增加

一人口　五十五人增加

○齋藤孝藏氏の損害　過般北濱大火の際燒失の不幸に遭ひたる齋藤孝藏氏は倉庫に積み込みありし韓人預りの米穀數十石を灰燼に付したるが氏か多年の信用は斯る際殊に著しく預け入れたる韓人等は自分の損失を頭に抱かず却て氏の不幸のみを氣の毒がり信用に倍して賴むを加へたりといふ

○洛江沿岸と桑樹植付に就て　目下本邦より渡韓者が當釜港を跡に見て人煙稀少の内地に入り農に商に各自の天職に從事する日本國の爲めに慶賀に堪えず常釜港の如き拾はんとすれば既に遺利なく又遺利あり拾はんとするも小資体家の爲めに執るへき策にあらず落東沿岸の長數十里間か[illegible]水の氾濫ありて地は荒蕪に歸し今日迄何人の手も著けられざる状態にて今日之れか地を利用して桑樹を植付け蠶業に從事せば其の得る所僅少にあらざるへしと野村郵便局事務主任は語る

●返電未だ來らず　過般韓[illegible]に於て奉天陷落祝捷會を開き議外事に祝電を發したるが未だ返電に接せず二三日中に答

○廢物利用組　[illegible]南濱町一二の實業家に依りて[illegible]創立に至るへき廢物利用組は其名の如く市井に散亂する紙屑を初め硝子屑等を利用して製造[illegible]有益なる事業に供給する目的のものなりといふ

○實業株式會社　昨紙[illegible]報の如く[illegible]實業株式會社は益々有力なる同業者間に於て當港に組織設立さるへく早くも會社の建築受負及其他社用々向に取懸れる向もある由也

●福井商會の撮影　新たに開業すへき福井商會に於ては再昨日朝寫眞館に依頼し同店先に於て紀念撮影をなせり

●書記任用　[illegible]妹尾氏は當居留地役所書記に[illegible]任用されたり

●島田氏の移轉　當港實業家島田歸氏は從來の處より頭港商下に移轉されたり

●旅店同業組合　當港一二の旅店主計劃主となり同組合を組織するに至るへしと

○相撲も今日限り　過般より當港佐須土原に興行中なりし小錦一行の相撲興行も愈々今日限りとなりしを以て今日はお名殘りとして觀客も頗る多かるへしといふ

○絹はかきの流行　日本内地は頗る綸はがきの流行を極め居るが其の影響を受け當港の如きも昨今に至り頗る流行し居りて同品の賣れ行き盛んなりといふ

●[illegible]近情

二月八日[illegible]より芝罘に入港せる汽船太平號船客の談なりとて芝罘新聞の報する所に依れば新砲臺は續々建築せられつゝあり從來の砲臺も皆な防備を嚴にせるに力め增援兵は日々汽車にて到着しろの數一日一千人に達することあり現在[illegible]守備の兵は四萬に達せり[illegible]にては日本兵が遠からず同地を襲擊すべきを豫期し既に十一艘の軍艦より成る日本艦隊の港外に游弋するを見しものあり又敵[illegible]の日本兵は同地を去る約六十英里の地點に上陸せりと傳へらるゝ[illegible]となり然れ共成る[illegible]本兵の同地を襲擊するあらんなかるべしは信するもの、如し又[illegible]の鐵道は[illegible]の警戒頗る嚴重にして有力なる守備隊は鐵道沿地へ各所に駐屯せり又近頃に至り數隻の潜航艇[illegible]で歐露より同地に到着せり潜航艇二隻は鐵道に依らず特に製造せる荷馬車にて同地に廻送せられたるものあり[illegible]しか結氷のため今に進水する能はず而して現今[illegible]にある潜航艇の總數は十四隻にしてグロポトキンは尚ほ入渠中にありロシヤスみは[illegible]少距離の游弋を試み[illegible]は修繕中なりといふ

●大連市の近况

▲街衢　戰前以前に於ける舊市泥窪市街は純粹の支那造屋千戸を超えざりしなるべく露人の建築せる西洋風家屋も其大半を占めたりしが敗走に際し火を放へたれば今は僅にわ[illegible]の改造を掛るもの[illegible]を除きては支那家屋街の僅か[illegible]保存するのみ[illegible]一區は家屋街路の修繕完了したるも市街の北端に方り大屋の半ば火災に罹りたるもの未だ修理せられず[illegible]約二千坪の公園は西公園と稱せられ[illegible]庭園師の技を盡したる[illegible]にして中天に聳ゆる寺院の高塔又は事務所の一棟博物館及び露人の手よりわれに移りて飼養繁殖せらるゝ動物館等は稍觀を存せり又市街の中央部海岸に近き邊は支那商賈れ露店商務に繁昌し往來織るが如く[illegible]一區域を劃して支那人獨占の有樣なり

▲市價　新開地の習として食品の多數は飲食物なり支那饅頭（わか國のものと彷彿す）店最も多く豚肉を鬻ぐもの之に次げり豚肉一斤は三十五錢たるべしとの隣重なる訓令的市價制定せらるにも拘らず狡猾なるチャン商は邦人には六十錢以上に賣りつゝある事珍らしからず其他正宗三合（二十四錢）葱一本（二錢五厘）共一斤は（三十五錢）白菜一株（五錢）鷄卵一個（三錢）ビール一本（三五錢）葡萄酒一本（七十錢）卷煙草は官營以後の本邦市價と異ならず

▲商況　世界第一に稱せらるゝ商賈上手の清國商人と競爭する事ぞて本邦商人に常に敗等に壓倒せられ既に開市以來今日まで五十餘戸の本邦商店中十分の七は損耗を招きて歸國せるのみならず酒保の如きさへ往々にして商利を獨占しつゝあるものは三井組の運搬業にして三十餘の家が[illegible]受け[illegible]支相價はずして引拂ぐる程なり現今邦人婦人の名義を以て營業せるなり

▲家賃　は二間半間口一軒一ヶ月十圓内外最通も六圓内外なれとも遂かに芝罘山港とならば大なる變動を免れざるへし[illegible]煙草等にて日日に五十四円内外の賣行あり[illegible]と云へは少しく商事に敏なるもいなりせば損失に終る事なかるへきに商ひ下手の邦人は前途繁榮の程覺東なし

▲漁業　漁業は由來清國人の最も不得意とする所なるを以て邦人の多くは海を[illegible]二月中旬よりして鯛の漁期に入ると云へは[illegible]人して漁業に着目するものあらば或は[illegible]

雜貨買次業開始廣告

諸國荷受問屋

韓國貿易商

今般雜貨買次業開始仕候ニ付多少ニ不拘御注文被成下度奉希願候

大阪市西區北堀江五丁目

濱田辰之輔

電話西（五八二番）

●大商店訪問記（六）

▲山本呉服店（陳列所前通）

[illegible]三科を得へけん（二月廿七日發）

物産陳列所前通りなる山本呉服店を訪ふ同店主は明治十八年渡韓種々の事業經營せしが[illegible]い先に醤油釀造を專業としたるが後今の綿布本呉服店をも開業するに至れる也、記者の訪問せるは午後將さに二時何れの町内も最も雑踏を極め居るの時なりき硝子戸を排して案内を乞へば店員二名懇切に應接せる店員の一人は且く只今は冬物の棄て[illegible]て斧替の時期に早いといふ時季ですから一寸沈靜です又一人は昨年の二三兩月は京釜鐵道の工事で商客頗る多かりしと語り更に店員援け呉服商の如きも今日迄雜貨組合の範圍内にありしが最早同業者も三十餘名あれば此際一致の行動を採り極端或は姑息なる競爭の弊害を矯正するに勉めざるへからずと云々と述へらる店内の規模廣大當港稀に見るの大商店也

▲灘光（南濱）

南濱中央部に灘光なる魚仲買店あり記者は昨日午後四時全店を訪ひぬ店主は折惡しく京城なる支店に行かれて留守店員某氏と懇談す全店の營業は當港にても舊家の方にして明治廿年の開業既に十八年の星霜を經たりといふ某氏は今後厚[illegible]旅館の需要最も好望なるべきを語り且つ昨今は魚類は一寸靜かなる方にて今日下旬より來月に至らば盛况に至らん云々と語られたり

▲吉川商店（本町）

本町なる同店を訪ふ店主不在店員某氏と語る佐賀セメント一手販賣の外砂糖其他數品の貿易業です今日に於ては該セメント營業の其の効用を知り且つ只今の所を韓國各地の建築が盛大でございますから其の需要も日々增加して參ります同店は當港樞要の地にある大商店に列すべき商店にして信用の低度も高しと聞く

▲韓貿易商店（入江町）

韓貿易商は當港入江町にあり創業日猶ほ淺きも店主[illegible]に富み[illegible]今日まては幾多同業者を凌駕しつゝあり同店は今日を[illegible]道御を[illegible]業と[illegible]所謂商人[illegible]集して韓國内地に貿易しつゝあり店内を一見するに店主を初め店員一刻も休憩するなく活動しつゝあり店主曰く行商人の[illegible]とて來る者を觀るに多くは一攫千金的夢想を抱いて渡韓し其多くは商資氣なくして何れも失敗に歸しつゝあるは遺憾[illegible]云ふを嘆せられたり

公[illegible]十六日午後七時營譯着

我商港部隊は到る處敵を[illegible]追し木曜日午前二十分[illegible]を占領せり

（二）　明治三十八年三月十九日　朝鮮日報　（明治三十八年一月十四日第三種郵便物認可）

朝鮮日報

小説

新作小説 みだれ心（三）　小野田翠雨

あゝ、はうでない、徒 邪 話 らない事を思ふのではなかつた、なんの、杉男さんなんかあんな私のやうな田舎娘ツぽい、騒々した心の女の方ではなかつた、軍人だけあつて、お心は鐵のやうで、無頼者の様ではあつたけれど、お情はふかく、場合によつては、普通の人よりも、私より一層、涙脆いところがあつた。さう、何時の晩であつたか不知、主人で夕餉を濟ましてから、私が様側で杉男さんに御様ぱ叱られてゐたが、奥からおッ母様の邪慳ッた聲によばれて、背頭から、嫁うちから大聲の姑をうツちやらかして、巫らち夫が可愛ので、さう時もあらうに、何の山國るもんぢやない、夕飯か濟んだなら、姑の機嫌伺ふのが、眞實の嫁の務めの道ぢやないか、いくら年歯が若いッて、お前の村兒氣には呆れッちまうちと、おッ母様の肩でも揉でおくれと、云はれて肩揉み年ら、も手節の堅いの、能と嫌く肩を打つのと、さんざ叱られて居たのを次ぎの間に立聞きしてゐた杉男さんは、私が不束の口惜しされ、毎夜さういふ風に姑の辛らうでは、とても辛しい杉男さん

一生樂しく暮らす事が出來まい、今夜あれなり、無斷では悪からうが、一時に郷里のお父様や、おッ母様か戀しくなつて二度とは此の家の敷居を跨ぐまいと思つて、行かうとして何氣なく、お庭の方へ出で、梅の亂れ咲く垣根のかげに、忍び泣きして居た時、何時の間にか來らしたのやら、之を昔もしなかつたのに、背後に私の袖をつかまへて、鐵や、我慢しろおてれくれと、涙をお諫しなすつて、人間の疳瘤玉につける藥か世の中にないから、じつと辛抱して居ておくれと、涙を拭きながら、私にさう云つて下すつた、あゝあの時の有難く、勿体なかつた、あと……それからといふものは、假令母様に何う叱られやうが、あの身は粉料になろうが、粉にならうが、死んでも杉男さんの先側を離れまいと、緊と心を堅めた、その夜、その時、鐵が十八番の穴八でも吹いて聞かすから、彼の橋の邊へ行かうと、私の手を取つて、橋の欄杆に凭り、千鳥の曲をやらを吹いて、私を慰めてくだすつた時の、嬉しかつたおと、あゝはんにあの時、私があの儘死んでも、殘り惜しい事はないと思つた位。折柄、川上の方で砧の音の遠く幽かに

[illegible]

其後愛子はんは……

● 彰武館の大會　釜山彰武館は師範……

● 滑稽戀猫物かたり

……



釜山商況

……

廣告

ソータヒスケット
家庭及交際界ノ必要品

エムケーインキ
特色
釜山港本町二丁目十九番地
韓國一手販賣元　富士商行
淺野幸太郎

漆器類シナカパン其他新古日用家具
右卸小賣廉價販賣ス
御不用品何でも買ます
諸品競賣委托ニ應ズ
古物業雜貨商　幸町三丁目　油谷商會　電話二五七番

有價證券賣買
電話讓渡讓受
至急受託ニ應シ
御不用ノ方ハ御報知願上候
公證周旋業　幸町三丁目　津田光藏　電話二五七番

福岡縣産婆講習所卒業　産婆　神保ヨシ

廣告
弊店義從來西町三丁目ニ於テ營業罷在候處各位ノ御愛顧ニ依リ日ニ増シ繁盛ニ赴キ候ニ就テハ到底此迄ノ店舖ニテハ狹ヲ感シ候ニ付今般西町三丁目荒酒場跡ヘ受移轉仕リ全時ニ熟練ナル技師數名ヲ雇聘シ酒類ノ四季醸造販賣ヲ開始シ尚最上醬油ノ元祖タル山サ印醬油ノ韓國一手特約販賣モ益々擴張致シ以テ各位ノ御厚意ニ報ヒン爲メ確實ヲ主トシ御便利ヲ相謀リ可申候間舊倍御引立之程偏ニ希上候
尚諸雜貨共從來ノ通近日開店可仕候
西町二丁目
山サ印醬油韓國一手販賣元
廣田釀造場附屬販賣部

營業課目
大坂京都地方と連絡を通じ雜貨類野菜乾物類の輸入致居候
業務擴張
ニ付キ御入用の節は何品によらず誠實迅速を旨とし賣買に應じ可申候
何品によらず御委托品の賣買に應じ可申候
京都産野菜類韓國一手特約販賣
雜貨輸出入商　委託賣買業
釜山港西町五丁目二番地（大廳町學校前）
山口三郎商店
電話（二百參拾八番）

營業開始廣告
當地水産物市場豫テ建築中ノ處今般落成ニ付本月十三日ヨリ營業開始致候間此段廣告仕候也
京城南大門外
株式會社　京城水産物市場

たばこ
小間物
雜貨
新荷着
靴
廉價販賣
井筒屋
南濱町三丁九

買物賣物告白
天降石（ソラヨリ落タル石）
活鶴（イキタル）つる、虎（トラ）の皮
機械船具　水潜服（舟頂ヲ除ク）
商品目錄申込次第送呈ス
……
日本横濱市山下町一七九番
當分釜山本町……
オーストン
長聖道

琉球國名産
泡盛燒酎●琉球絣
……
特約販賣店
全通出張店
團野酒店

速成日朝寫眞館
韓國風景風俗寫眞
釜山南濱通
……

新荷到着と業務擴張
コールテン、シヤツ類、和歌山特産モンパシヤツ
西町なんめい通　十字屋本店
美濃燒、尾州燒、伊萬里燒、陶器類
西町なんめい通　十字屋第一支店
名古屋小間物、出雲燒、陶器、漆器、一閑張
釜山陳列館附屬賣品館　十字屋第二支店
建具類一切
西町なんめい通　十字屋第三支店
右新荷到着候ニ付卸小賣共大割引販賣

京城泥峴一號地ニ滯在シテ契約起案民刑訴訟等凡ソ法律事務ヲ取扱
東京辯護士會
辯護士　皆川廣濟

煙草製造販賣廣告
本邦政府專賣局ノ特許ヲ受ケ高級ナル日本葉煙草ヲ輸入シ多年練磨ノ技術ヲ以テ高尚優美ナル刻煙草紙卷煙草ノ製造業相營ミ候間切ニ御購買ノ程奉願上候
●旭の煙（紙卷）　貳十本入　定價金六錢
●文明（紙卷）　貳十本入　定價金五錢
鳳凰（刻煙草）　貳十本入　定價金四錢
●高尚優美特製加の煙文明各種
●旭の煙紙入包紙入
其他紙卷煙草各種玉造ハ御注文に應シ特製可申候
韓國京城　製造元　日韓煙草商會

韓錢相場（三月十八日）
現錢十七割四分
手形出來申さず